

- 2面 【学会の目・眼・芽】ウィズコロナの都市緑化フェア
(公社)日本造園学会理事 北海道大学大学院農学研究院・准教授 愛甲 哲也
- 3面 日造協50周年に寄せて 自然と共に 未来を見つめて
(一社)日本造園建設業協会副会長 鬼頭 慎一
- 【アフターコロナに向けて】遊具だけではない公園の魅力を活かす
- 4面 【ふるさと自慢】激しく美しい海峡を渡る5つの方法と関門の魅力
福岡県支部 野上 貴子 (株門司造園)
- 【緑 滴】♪ フルートの音色 ♪
長野県支部 平川理恵子 (株信州グリーン)

お陰様で (一社)日本造園建設業協会は2021年11月に創立50周年を迎えました。記念行事は2022年の総会を中心に実施予定です。

2027 横浜 国際園芸博を報告 AIPH 博覧会会議と総会を開催

日造協が、日本の代表機関会員として加盟している国際園芸家協会 (AIPH : <https://aiph.org/>) は、園芸植物業界の情報交換の世界的中心であるとともに、年間を通じてイベントや会議を開催している。最近の活動方針は、環境への配慮と持続性の確保に重点が置かれ、国連のSDGsへの対応が求められている。最近開催されたAIPHの国際園芸博覧会会議と総会、また新たに創設された「グリーンシティアワード」の概要について報告をする。



横浜市の報告資料とイメージ動画 (URL https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/toshi/2021/1020engeihaku.files/0002_20211020.pdf, <https://youtu.be/tKTgHIDPuJM>)

AIPH 園芸博覧会会議

AIPHの国際博覧会会議が、2021年10月19日にバーチャル会議システムHopinを使用して開催された。

会議はAIPH事務局のあるロンドンから世界標準時8:00 (日本時間16:00～20:30) で行われ、Tim Briercliffe 事務局長の司会で進行し、Bernard Oosterom 会長のあいさつに続き、A1からCカテゴリーの博覧会現状報告と開催予定、AIPHの提唱する博覧会における持続可能性への取り組みなどが報告された。

バーチャル会議は分刻みのスケジュールで進行し、A1博覧会では、フロリアード2022、ドーハ2023の現状報告に続き、2027年に横浜で開催される国際園芸博の報告とプレゼンテーションが披露された。

2027国際園芸博の報告は、横浜市の曾我幸治国際園芸博覧会推進室長のあいさつで始まり、計画の進行状況や博覧会会場のイメージ映像が公開され、発表中、チャットで各国から期待の声が寄せられた。報告終了後には、2027国際園芸博の準備状況や主役となる植物調達などについての質疑が行われた。

AIPH 2021年総会

今年の総会は、COVID-19の感染拡大対応から、昨年に続きバーチャル会議で10月21日、20:00-22:30 (日本時間) に世界の加盟国が参加して開催された。

議題は、組織運営に関する事項と新たな役員人事に加え、AIPHの持続可能性戦略、博覧会規則の一部改訂などが審議された。議決は加盟各国の代表者が賛否を投票する形式で行われ、即座に賛否割合が表示されるシステムが採用され、全

ての審議事項が承認された。

グリーンシティアワード

1.Green City Awards とは

AIPHのGreen Cityへの取り組みは、2008年のドバイ総会で第1回会議が開催され、AIPHの会員の主要な事業である植物による環境負荷低減や持続性を通じて、植物の有益性を広め普及啓発を図るために活動する常設Green City委員会として設置することが決まった。

AIPH World Green City Awardsは、積極的な自然志向による都市の計画と運営を、推進し普及することを目的としている。

今日の都市が直面している課題解決に向け、植物と自然をより多く利用し、より良い都市環境を作り出すことの必要性を認識し、経済的、社会的、環境的に回復力のある都市をめざす地域住民の願いを実現することになる。

賞は6つのカテゴリーで構成し、各カテゴリーの表彰者と総合的に優れたAIPH World Green City winnerを表彰する。

2.Green City Awards 参加の効果

2022 AIPH Green City Awardsは都市が参加する世界最初の国際コンテストとなり、以下の効果が期待される。

- ・都市緑化による多様な利益についての認識を得る。
- ・国際レベルでの都市の宣伝となる。
- ・より環境に優しい都市に向けた世界的な運動を展開する。
- ・都市住民の居住環境と労働環境が非常に良好であることを示す。
- ・都市の自然が市民の健康改善、雇用機会増加、経済発展を促し、緑化規制を強化する方法を紹介する。
- ・革新的な地域の活動が国際的な目的達成にどのように貢献するかを示す。

樹林 (一社)日本造園建設業協会監事 (株)タイキ代表取締役 矢野 幸吉 負けない未来社会・大阪万博を契機に



新型コロナウイルス感染の第5波が収束に向い、大阪通天閣も緑色の点灯となり、キタやミナミといった繁華街にも活気が戻って来たようです。

しかしながら第6波の到来が懸念されています。現状に安心することなく今後も一人一人が感染の困難を忘れることなく、油断なくその対策に努めることが肝心です。



先の衆議院選挙の結果により、岸田政権が本格的に始動し、国政を担われる事となりました。

「新しい資本主義」中間層を分厚くする。その構築が主題のようです。アベノミクスにおいてもたらされた経済の復興、私たちもその恩恵を受け事業経営もある程度安定して参りました。岸田内閣もその成果を軽々とされず、より一層の経済発展を促進されることに期待致しております。

長く続いたデフレ、その状況も変化しつつあります。造園業界においても労働者不足による作業代金・賃金の上昇、原油の高騰等による材料費の値上がり、にもかかわらず施主様等による発注代金はそのトレンドに追いつけておられず、振り子はインフレへとどんどんシフトしていくように感じております。

会社【事業】が安定してこそ社員や協力業者の皆様はその受益を分配することができると考えております。インフレという新たな困難に立ち向かい、知恵を絞り出し経営していかなければ

なりません。中小零細企業は行政機関や大企業の傘の下で生計を立てています。

いわゆる「寄らば大樹の陰」です。それはそれで生きる道ですが、自分で傘をさす経営、これからの目標となります。

都市公園は、プライベート・ファイナンス・イニシアティブにて、どんどん商業施設へと変貌しております。仕組みそのものを否定するわけではありませんが、公園の本来の役割を見つめて、商業と上手に融合出来るそのシステムを構築するべきです。造園業界が後塵を拝することなく。



さて、大阪は4年後の国際博覧会に向けてインフラ整備等が急ピッチで進められております。会場の【舞洲】荒野だったあの埋立地に。私たちの出番はまだ先のようです。

2017年9月号、この樹林にて「万博開催実現を」テーマに寄稿致しました。

実現した今、素晴らしい空間を作り上げ、ご来場下さる皆様方へ夢と希望をお持ち帰りいただける会場となるべく努めていかなければなりません。

「いのち輝く未来社会のデザイン」これが大阪万博のテーマです。人類の健康・長寿社会への挑戦です。

この万博を成功させる事を目指し、それを契機にウイルス感染や不安定な経済に負けない社会となることを願っております。



3.2022 AIPH Green City Awards カテゴリー

- ①健康と福祉：住民の健康と福祉のための医学的、行動的、社会的決定要因への取り組み
- ②気候変動：住みやすく回復力のある都市構築のために、気候変動の根本的原因と影響への取り組み
- ③経済回復と包括的成長：都市住民の経済的苦痛の克服と、繁栄を可能にする仕組みと実施への取り組み
- ④生物多様性：種、生息地、生態系の健康、および遺伝的多様性の喪失に対する対処への取り組み
- ⑤水：水資源保護と、有効活用を確認し、全ての人がきれいな水を利用できるようにすると同時に、住民を洪水のリスクから保護への取り組み
- ⑥社会的結束：排除、疎外、暴力を防ぐために、帰属、信頼、世代間および異

文化間の関係を促進することへの取り組み

- ・応募者は、最も関連性の高い賞のカテゴリーを2つまで指定することを求められる。
 - ・応募に複数都市が含まれる場合、提出は1つの主要都市での活動に基づいている必要があるが、他都市での活動を、主要都市の「波及効果」と呼ぶことができる。
- 2022年3月14日の応募締め切りまでに日本からも応募があることが強く期待されている。

(一社)日本造園建設業協会
技術アドバイザー 野村 徹郎

2022 新年造園人の集い 【開催中止】のお知らせ

毎年恒例の「新年造園人の集い」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

地域リーダーズ勉強会実施報告 名古屋で P-PFI 施設などを視察

地域リーダーズは、11月1日と2日にわたり、緊急事態宣言の解除に伴い、昨年度実施を断念した愛知県名古屋市における Park-PFI 活用事例の見学会を改めて開催した。

感染防止対策を行ったうえ、総支部代表の地域リーダーズ 11 名と関係者のみでの開催となった。

【名城公園・久屋大通公園の見学】1日目

中部総支部の岩間紀久裕リーダー、後

藤幸岩間造園(株)専務取締役による各指定管理事業の紹介と説明に続き、名城公園の Park-PFI 型施設「トナリノ」と、同じく Park-PFI を導入し再整備がされた久屋大通公園のほぼ全域について見学を行った。

トナリノは名城公園の旧管理事務所跡に建てられた施設で、スターバックスをはじめとした各種販売店がテナントとして入居しており、広いウッドデッキからは名古屋城天守閣も見渡すことができ

る。また駐車場スペースには特斯拉モーターズジャパンの電気自動車用充電ステーションも備わっている。

見学会ではそのウッドデッキの展望に加え、管理事務所の取り壊し前から存在する公園用設備を取り囲む形で本施設が建っていることを確認した。

久屋大通公園は、もともと名古屋テレビ塔(現・中部電力 MIRAI TOWER)で知られる縦長の公園であったが、2017年の再整備の方針として Park-PFI および指定管理者制度が導入され、2020年に各エリアの供用が開始された。元々はやや入り組んだ公園樹が並ぶ庭園のみであったが一新され、芝生の広場や水盤などの平地の周りに様々なテナントが並ぶ

という光景に生まれ変わっている。

参加者は、北端から公園を南へ縦断するかたちで見学し、「ミズベヒロバ」と呼ばれる水盤付近で記念撮影を行った。

【小幡緑地公園の見学】2日目

岩間造園(株)が指定管理を行う小幡緑地公園の Park-PFI 施設「オバッタベッタ」の見学を行った。

オバッタベッタはキャンプサイト「ヤネル」と、施設内のレストランである「マメボシ」で構成されている。

ヤネルは岩を思わせる多角形のキャビンが多数並ぶ宿泊棟サイトが特徴で、テントサイトや BBQ 場としての利用も可能であり、見学後、昼食会を行った。

また、マメボシは地元農家や自社農場にて栽培された野菜の料理を中心としたレストランである。

【まとめ】

今回の見学会はあいにく小規模開催にとどまったが、1年ぶりの地域リーダーズ各メンバーによる顔を合わせた交流の機会になったということもあり、メンバー間の満足度は非常に高いものとなった。

次回開催時には通常通り、全国から地域リーダーズ以外の会員企業も交え、より交流を深められることを祈り、結びの言葉とする。

地域リーダーズ総リーダー 松戸 克浩



久屋大通公園「ミズベヒロバ」で記念撮影



小幡緑地公園「オバッタベッタ」にあるキャンプサイト「ヤネル」

「街路樹剪定ハンドブック」改訂版を発刊

街路樹剪定の手引書である「街路樹剪定ハンドブック」をこのほど改訂し発刊することとなりました。

本書は、街路樹の剪定技術を中心に、街路樹の基本的事項、病虫害、植栽基盤整備、安全衛生管理の要点についてとりまとめたもので、2006年に初版が発刊され、街路樹剪定の専門書として多くの方々に活用されてきました。

今回の改訂では、第3版の内容を基に、図表や写真を刷新し重複する内容を分かりやすく整理し、樹木の生理現象を踏まえた剪定方法や街路樹管理に関する最近の施策・課題解決の方策に関する提案、フルハーネスの取扱など安全管理について加筆しました。

(定価 5,300 円、会員価格 3,200 円)



「造園安全衛生管理の手引き」のご案内

労働災害を減少させるためには、従来手法である災害事例に学び再発防止対策を行うのみならず、現場に潜在する危険性・有害性を調査・評価して、それらを除去または低減して安全衛生水準の向上を目指していかなければなりません。

「造園安全衛生管理の手引き」は、施工現場や事業場で、いつも手元に置き、必要な時に見ることができる資料集として、また職場の自主的な安全衛生管理活動を進める手引きとして活用していただくことを目指して作成したものです。

今回の改訂では、当協会が会員に実施している労働災害の実態調査をもとに、造園建設業の特色を反映し、造園建設業の特色の一つである剪定作業に必要な用具(墜落制止器具等)や造園の現場での作業実態を踏まえた「作業別安全基準」を掲載し、より実効性が高い手引きとし

ました。

本書が広く関係者に活用され、造園建設業の安全水準が向上し、労働災害・事故の撲滅に繋がることを願っています。(定価 3,700 円、会員価格 1,900 円)。



日造協が発行する書籍は、日造協のホームページ (<http://www.jalc.or.jp/publish/index.html>) から申し込みができます。ぜひ、ご利用ください。

学会の目・眼・芽 第123回

ウィズコロナの都市緑化フェア

(公社)日本造園学会理事 北海道大学大学院農学研究院・准教授 愛甲 哲也

この原稿を執筆している10月下旬において、新型コロナウイルス感染者数は急減しつつあり、観光地や夜の街ににぎわいが少しずつ戻りつつあるように感じます。

2020年1月末に最初の国内の感染者が発見されてからこれまでの間、造園業界もこれまでにないさまざまな影響を受け、新たな対応を迫られました。

造園建設業では、特に公園の管理運営などにおいて、これまでにないご苦労が多いのではないのでしょうか。



当初は施設の休止やイベントの中止が相次いだものの、第一波がすぎた2020年夏以降は、政府の観光促進策

などもあり、感染対策を行いながらの施設の開放やイベントの再開が行われています。

イベントや冠婚葬祭の縮小で花卉類の販売は低迷しているものの、ステイホームで家庭用の切り花・鉢花・園芸資材の需要や市民農園の利用などは増えているという報告もあります。

在宅勤務で余暇時間が増加したことや、遠方への旅行ができないことから、近隣の公園や低山の利用者は増えています。

コロナ渦であらためて、緑や花のある暮らし、身近な自然とのふれあいが見直されています。



全国に緑や花のある暮らしを普及させる都市緑化フェアは、2020年に開催された広島では一部のイベントなどの中止・延期があり、2022年には春に熊本で、初夏には北海道での開催が予定されています。

北海道における都市緑化フェアは、1986年の札幌開催以来になります。2022年6月25日～7月24日に開催される第39回全国都市緑化北海道フェアのメイン会場は、恵庭市の「はなふる」です。



恵庭市は花のまちづくりで全国的にも有名ですが、人口は約7万人、これまでの開催地とは異なります。

ガーデンフェスタ北海道2022のテーマは、「花と緑～恵みの庭を人がつながる北の大地から」、日々の暮らし、豊かな地域社会、地域の絆などが

基本方針に掲げられています。

より身近な市民の暮らしに緑や花を普及させること、さまざまな主体が連携することといった恵庭市のこれまでの取り組みを、全国のみならずと共有し、今後のまちづくりに活かしていこうという思いが示されています。ウィズコロナの緑や花の価値、これからのまちづくりについて考える機会にもなるでしょう。



都市緑化北海道フェアの1週間前には、日本造園学会全国大会も恵庭市を会場に開催いたします。

コロナ対策で不自由をおかけすることもあると思いますが、みなさまとお目にかかれることを楽しみに関係者一同で準備をすすめております。



日造協 50 周年に寄せて

(一社) 日本造園建設業協会副会長 鬼頭 慎一

自然と共に 未来を見つめて

2021 年 11 月 9 日、瀬戸内寂聴さんが亡くなられた。

京都嵯峨野に曼陀羅山寂庵。「早朝、寂庵の庭から東山の峯に昇る朝日を眺めると、澄明な紅さが美しく、神々しい中にもやさしく、親しみやすさがあって合掌せずにはいられません」(今日を生きるための言葉第 1620 回)。2018 年 4 月、Instagram に庭をアップ。「寂庵の庭は日本中の中で一番きれい。青々してきれい」「造成地で一本の木もなかったところに、庭師の卵を集めて、私のデザインで造りました」と語る。

1998 年開館の宇治市源氏物語ミュージアムには自ら揮毫の「源氏の庭 紫のえにし」の石碑が置かれる。

物語ゆかりの木々が色づく、寂聴さんは「平安のころから宇治の山や川は変わらない。ミュージアムはここにあるからいい」と話す。

寂聴さんの言葉を紡ぐとき、美しい日本の山々が、私たちのつくる庭から手を伸ばせば触れられるほど近くにあることに改めて気づく。

山々も庭もやさしい。私たちはきっと日本そのものをつくりあげることに限りなく力を発揮してきたのではないのか。寂聴さんの言葉をたどりながら合掌する。



1971 年、日造協が発足した。私も造園業に従事して 50 年、奇しくも日造協の歴史とともに歩んできた。創立 50 周年を迎え、協会活動の中で特に思い出深い事業について記してみたい。

高知と愛媛県境にある標高 1,065m の篠山は、ミヤコザサ、アケボノツツジの大群落で知られ、美しい花を求めて多くの人が訪れる。

2004 年頃、ミヤコザサ等がシカの食害により失われ土壌が流出、さらに風

害を受けてアケボノツツジが根返り現象を起こしていた。

丸太やワイヤーの支柱を使って倒木を防止し群落保全に取り組んだ。ある時は雪の中を、また寒風吹き荒ぶ中、重い資材を背負子に載せ山道を幾度も往復したことを忘れられない。

同時に、現地では育ちにくい後継樹の育成にも着手。3 年がかりで採取した種の発芽・育苗に取り組んだ。

2014 年 6 月 30 日、20cm ほどに成長した幼木 100 本を標高約 500m の場所に地元の小学生らと「里帰り植樹」した。

花が楽しめるのは 40 ～ 50 年後。この子供たちに篠山のアケボノツツジ開花を見届けて欲しい。私たちの仕事には、大切なものを未来に遺していくという大きな意義があることを改めて感じる。まさにいま注目を集める SDGs である。



省みればこの 50 年、周囲の方々のご指導をいただきながら自然と関わってきた。

なんと言ってもその原点は、日本最

後の清流と言われる・ふるさと四万十川上流域の里山の原風景である。

その四万十川流域から嬉しいニュースが届いた。四万十町で活動するボランティア組織の朝霧森林倶楽部が和紙の原料だった「雁皮(がんび)」の自生を見つけ、種子から発芽、育成を続け、植林を始めたのだ。

すでに刈り入れできるまでに生育。県内外の和紙ゆかりの人たちから視察の申し入れが相次いでいるという。

同倶楽部はすでに自然と生活を結びつける山づくりのスペシャリスト。「雁皮」植樹がいつまでも続くように私たちが支援していく意義は当然あろう。未来への挑戦はここにもある。



環境の世紀も 5 分の一が過ぎ去った。頻発する局地的大雨や地震等による大災害。人にとって、自然環境にとって厳しい時だからこそ、私たちが培ってきた知恵と技術・技能を結集し、緑豊かで人と自然が共生する優しい環境を未来に繋ぎ、遺せるように着実に歩んでまいりましょう。

アフターコロナに向けて コロナ禍における会員の取り組み事例

遊具だけではない公園の魅力を活かす

広報活動部会では先頃、日造協会員を対象に「コロナ禍での公園等の活用に関する調査」を行い現在までに 24 件の回答をいただいております。会員の方で関連の取り組みがございましたら、取り組みについての概要を事務局までお送りください。

今回は、仙台市の海岸公園冒険広場で指定管理を行う冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体が行った取り組みの 1 つをご紹介します。



コロナウイルスの感染拡大防止から、子どもたちが公園内の遊具に集中し、その結果、そのご家族も遊具周辺に集まっ



貸し出し用に用意した虫取り網

てしまうという状況が懸念されたことから、遊具に来園者が集中することによる密集・密接を生じないような、園内を広く使ってもらい、気兼ねなく遊んでもらう取り組みを新たに考える必要がありました。

こうしたことから、生まれた取り組みが「虫取りイベント」です。



イベントの実施に先駆けて行ったのは、まず、「除草をしない」ことでした。今回の虫取りイベントのために、一部エリアの除草をやめて、草を繁茂させて、虫取りエリアを設けました。

さらに、高木にやってくる虫もいるため、子どもたちが虫取りに行けるように植込みの裏にある高木までの道を整備するなどの事前準備を行いました。



虫取りイベントといっても、開催日時が決まったイベントでは逆に来場者が集中してしまうので、常時行えるイベントであり、「虫取り網 始めました」と貸し出し用の虫取り網を用意し、来園者に自由に使っていただきました。



この結果、園内のいたるところで虫取



公園内で虫取りをする子どもたち



りをしている姿が見られ、来園者の遊具に対する集中も緩和されました。

さらに、公園が虫取りをしてもいい場所という認識が広まったことで、虫取り網や虫かごをもって遊びに来る人が多くなりました。

そのほか、利用者からは、今までは虫に関心がなかったが、自分の家のそばでもやってみようという声も多く聞かれ、生物多様性への関心が一時期より薄れたといわれる中で、少しでもこうした環境に対する問題に関心を持っていただけるようになったのではないかと考えています。



そのほか、来園者の密集・密接を回避するという目的を達成するだけでなく、遊具を使わなければ遊べない公園ではなく、遊具が無くてもできることがある、遊ぶことができるということを知っ

てもらったいい機会になったと思っています。

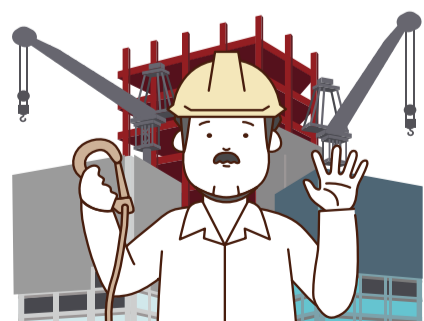


園内を広く使ってもらうことを促す取り組みは、コロナ禍でなくても、公園を有効活用するうえでとても大切で、今後もさまざまな取り組みを考え、実施していきたいと思います。

また、今回は「いかに密を避けるか」という対応からの取り組みでしたが、「遊具以外の園内の魅力に気づき活用してもらう」という方向も、コロナ禍に限らず大事な視点です。

これからも公園のさまざまな利用、より有効に活用するための工夫をしていきたいと考えています。

年齢問わず 建設業界で2年以上働いたことのある方



けんたいきょう

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

電話すると退職金を
もらえる可能性があります!



まずはお電話を
通話料無料

0120-867-186

●受付期間及び受付時間は、令和3年12月1日(水)～令和4年1月31日(月)の平日9:00～17:00(土日・祝日・年末年始を除く)となっております。●受付期間を過ぎますと不通となりますことをご了承ください。

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

www.kentaikyō.taisyokukin.go.jp

建退共



福岡県
激しく美しい海峡を渡る
5つの方法と関門の魅力



一点透視図法のようなトンネルの中を下関に向かう

今回は福岡県の北九州市門司区、その中でもギュッと絞って関門の魅力をお伝えしたいと思います。関門とは、山口県下関市の“関”、門司区の“門”をとった言葉です。

まず門司区は、九州の先端に位置し、よく“九州の玄関”と称

されます。外周のほとんどが海に囲まれ、山あり田畑あり、ちょっとした観光地ありの、きれいな町です。



(株)信州グリーンにお世話になり 13 年目になります。

入社当初は子供が学生だったため、いろいろと余裕がありませんでした。そして、子供達も独立し時間に余裕が持てる様になったので、以前からやってみたく思っていたフルートを平成 26 年 10 月から近所の音楽教室で習い始めました。



最初は音を作り出している頭部管のリッププレートから上唇と下唇の隙間が安定する場所を見つけ出す練習から始まり、複式呼吸を意識しながらロングトーンの練習、運指・ゆっくりしたテンポから音を出す練習（低音域～高音域）ですが、最初は音が出なくて苦労しました。

初めて参加した発表会は散々たるもので、演奏というよりは棒立ち状態でした。そして、仲間の家で練習させて貰ったり、発表会間近に仲間が集まりリハーサルをしたり、老人ホームでの演奏会に参加させて貰ったりしながら、フルートの楽しさを実感し仲間との交流も持てるようになりました。



今年は 10 月中旬に発表会があり、ドボルザークのユモレスクを演奏しました。またまた緊張の神様が私に寄



練習風景



演奏発表会で

り添ってしまい、ゆとりのない演奏になってしまいました。

10 月初旬に長野県須坂市で、ピアノの小林玲子先生主催の演奏会に招待され、東日本大震災の復興を応援するためのチャリティーソング“はなは咲く”をデュエットで演奏しました。定例の発表会と違い伸び伸び演奏出来た事が嬉しかったです。



これからも、仕事や趣味を通して、仲間づくり人間づくりに励みたいと思います。



海底の県境



海底の国道 2 号



連絡船乗り場

しくて美しい海峡を渡る方法は 5 つ。車なら関門橋・関門トンネル、身一つなら連絡船・電車、それともう一つ、世界的にも珍しい海底人道トンネルがあります！

海の中を歩いて渡るのって魅力的ですよ（しかも無料）。トンネルは 780m、片道約 15 分で、日々のウォーキングやランニングコースとして本州と九州を行き来してる方も多いんですよ。ほぼ中間地点が県境で、これをまたいだ写真を撮らずにはいられませんよね！人気スポットです。



それから、フグの大きな口に車ごと吸い込まれて、出てきた所は下関。これが関門トンネルです。なんと、世界初の海底トンネルとして昭和 17 年に開通しました。そしてもう一つ驚きなのは、この海底トンネルも人道も、国道 2 号線だということです。

国道 2 号線は大阪府大阪市から門司区に至ります。そして門司区から鹿児島県鹿児島市まで続く国道 3 号線にバトン

10 (株)・登録造園基幹技能者講習委員会（試験委員会）
11 (株)・第 48 回全国造園デザインコンクール表彰式
15 (株)・登録造園基幹技能者講習委員会
2 月中旬～3 月上旬 街路樹剪定士指導員研修会・スキルアップ研修会

委員会等の活動

●地域リーダーズ勉強会（中部）
11/1-2 名城公園、久屋大通公園、小幡緑地公園などの見学会を実施
●広報活動部会（web 及び協会会議室）
11/2 日造協ニュース 12～3 月号の内容、令和 4 年度掲載記事の構成及び令和 4 年新年号等について審議
●植栽基盤診断士認定試験（実地試験）東京会場
11/11-13 東京都において実地試験を実施
●2027 年国際園芸博覧会協会設立時社員総会・第 1 回理事会
11/15 2027 年の横浜における国際園芸博覧会の開催運営等を行う「一般社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会」が設立
●登録造園基幹技能者講習
11/18-19 大阪府において講習を実施
●建築工事監理指針改訂委員会 植栽及び屋上緑



関門トンネルのふぐ④、関門橋⑤



人道入口

タッチします。



関門橋は高速道路の一部で、朝昼夕夜、いつ通っても美しい！関門それぞれの山、街並み、複雑な潮流、キラキラ光る波、行き交う船舶が全部いっぺんに視野に入るのですから。

皆さん福岡にお越しの際は、連絡船で行き海底人道で戻り、車で関門トンネルで行き関門橋で戻るとい、関門行き来旅を是非体験してください！

野上 貴子（福岡県支部 (株)門司造園）

化分科会
11/22 「建築工事監理指針 令和元年度版」の改訂について審議
●建築改修工事監理指針改訂委員会 植栽及び屋上緑化分科会
11/22 「建築改修工事監理指針 令和元年度版」の改訂について審議
●2021 年度（第 2 回）造園施工管理のポイント～造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修～
11/24-12/23 会員を対象に基礎、配植技法、剪定技法、石工事技法、移植技法について web で試行・開催
●植栽基盤診断士認定試験（実地試験）福岡会場
11/25 福岡県において実地試験を実施
●植栽基盤診断士認定試験（実地試験）大阪会場
11/26 大阪府において実地試験を実施
●UR との技術意見交換会
11/30 発注工事の円滑な施工に関する内容について意見交換を実施
●安全部会
12/3 造園用フルハーネス型墜落制止用器具」の普及状況と今後の供給、「造園工事・高木剪定に適した墜落制止用器具の使用ガイドライン」の作成などについて審議

事務局の動き

【12 月】
1 (株)・中国総支部との意見交換会【web】
2 (株)・運営会議
3 (株)・安全部会
6 (月)・造園技術フォーラム部会【web】
7 (株)・広報活動部会【会議室 & web】
8 (株)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
【会議室 & web】
・第 3 回建専連理事会
9 (株)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
・女性活躍推進部会出前講座等チーム会議
13 (月)・植栽基盤診断士認定委員会【会議室 & web】
・2022 年「今年期待の造園人」選定委員会

14 (株)・街路樹剪定士認定委員会【会議室 & web】
15 (株)・財政・運営部会
17 (株)・技術委員会【web】
・技能五輪全国大会 ～ 12/20
23 (株)・総支部長等会議

【1 月】
1 (株)・登録造園基幹技能者講習（愛媛）～ 1/21
22 (株)・第 48 回全国造園デザインコンクール予備審査会
23 (株)・第 48 回全国造園デザインコンクール本審査会
26 (株)・造園フェスティバル推進部会
27 (株)・登録造園基幹技能者講習（東京）～ 1/28

【2 月】
1 (株)・運営会議

【造園用フルハーネス型墜落制止用器具の販売】

★日造協では、技術委員会安全部会を中心に労働安全衛生規則の改正に伴い造園作業に適したフルハーネス型墜落制止用器具を開発などを進めてきました。

この度、日造協安全部会の群馬庚申園(株)様から「造園用フルハーネス型墜落制止用器具」を会員の皆様へ特別価格で提供とのご案内がありました。

ご希望の方は URL (<http://shop.kousinen.com/>) よりお申し込みください。

編集後記 感染状況も落ち着きを見せ、日常に少しかだけ戻りつつあるところに第 6 波の変異ウイルスのニュース、いつまで続くのかと思うと、改めてこのしつこいコロナウイルスを前提とした生活を考えないと感じています。コロナ禍で迎える 2 回目のお正月、皆様にはご自愛のうえどうぞ良いお年をお迎え下さい。